

第10回ニッポン新事業創出大賞表彰制度のご案内 [募集要項]

【実施概要】

- ◆主催 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会（略称：JNB）
共催 一般社団法人東京ニュービジネス協議会（略称：東京NBC）
協賛 独立行政法人中小企業基盤整備機構、NPO 法人香港和僑会
- ◆目的 単独若しくは第三者と連携した新事業・活動により、革新的な商品・サービスを市場に提供している企業（又はその代表者）及び新事業・活動に係る支援活動において顕著な実績を挙げている個人等、更にはグローバルな事業展開により成長発展する海外進出企業を顕彰することによって、いわゆる新事業創出促進の一契機とし、もって我が国の経済社会・地域の活性化に資することを目的とする。
- ◆表彰対象 ①新事業・活動（起業、第二・第三創業、海外進出等）を展開している企業、LLP、NPO 等若しくは、その代表者（但し、企業の場合、上場・公開企業は除く）、及び
②新事業・活動を支援している個人（グループを含む）等
- ◆表彰

【ニッポン新事業創出大賞】

◇アントレプレナー部門 <最優秀賞>

経営者のアントレプレナーマインド（起業家精神）、事業の新規性、革新性、実績等が評価の対象となります。尚、最優秀賞受賞企業には、下記のいずれかの賞が授与されます。

- ・経済産業大臣賞（予定）～賞状
（公社）日本ニュービジネス協議会連合会会長賞 ～表彰盾
- ・中小企業庁長官賞（予定）～賞状
（公社）日本ニュービジネス協議会連合会会長賞 ～表彰盾
- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長賞（予定）～賞状
（公社）日本ニュービジネス協議会連合会会長賞 ～表彰盾

◇支援部門 <最優秀賞>

新事業創出やその事業活動を斬新な制度施策により支援する団体・個人のうち、最も優れた実績を上げたものに授与されます。

- ・経済産業大臣賞（予定）～賞状
（公社）日本ニュービジネス協議会連合会会長賞 ～表彰盾

◇復興賞

東日本大震災後の東北3県（岩手・宮城・福島）の経済復興への貢献度が評価基準です。

- （公社）日本ニュービジネス協議会連合会会長表彰 ～表彰盾

◇グローバル部門 <最優秀賞>

海外で事業展開しており、革新性や独自性、優位性により新たな付加価値を創出すると共に、技術やノウハウ等において他社とは差別化された特徴がある企業や、その経営者に授与されます。

- ・経済産業大臣賞（予定）～賞状
（公社）日本ニュービジネス協議会連合会会長賞 ～表彰盾

◇国際アントレプレナー賞

海外において独自のモデルを持ち、他社の模範となる日本人起業家に授与されます。

- （一社）東京ニュービジネス協議会会長賞 ～表彰盾

◆審査委員（50音順・敬称略）

<アントレプレナー部門>・<支援部門>

委員長	松田 修一	早稲田大学名誉教授、JNB 副会長
委員	各務 茂夫	東京大学教授（産学連携本部イノベーション推進部長）
委員	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長、JNB 顧問
委員	長友 滋尊	公認会計士、株式会社L・A・B 代表取締役所長
委員	野長瀬 裕二	山形大学教授
委員	吉田 総一郎	株式会社吉田籐兵衛アンドカンパニー 代表取締役社長、JNB 副会長

<グローバル部門>

委員長	東出 浩教	早稲田大学ビジネススクール／早稲田大学大学院商学研究科 教授
委員	村井 振一	独立行政法人中小機構基盤整備機構 販売支援部長
委員	堀 明則	NPO 法人香港和僑会 事務局長
委員	中村 豪志	公益社団法人東京青年会議所 理事長
委員	加藤 雄一	株式会社アドバネクス 代表取締役会長、JNB 副会長
委員	深沢 栄治	株式会社光彩工芸 代表取締役社長、東京 NBC 副会長

*表彰部門により、専門性を有する為、審査委員が重複していません。

◆審査基準 ※経済産業省名義の使用等に関する規定に準じる。

(1) アントレプレナー部門

*新事業の開始から概ね5年以内、または会社設立から概ね10年以内の未上場企業。

*過去3年以内に、他団体で「経済産業大臣賞」等類似賞をご受賞の個人・企業は、応募できません。

- ◇アントレプレナーマインド（起業家精神）
- ◇事業・活動の新規性、革新性（商品・サービス若しくは提供システムの新規性、革新性）
- ◇当該事業・活動の実績（収益性、成長性）、並びに将来性
- ◇経済・社会、地域への貢献度、波及効果
- ◇財務の健全性等

(2) 支援部門

- ◇新事業創出に係る支援制度や施策の新規性、革新性
- ◇当該支援制度や施策の成果並びに発展性
- ◇当該支援事業の活動における応募者（個人又はグループ）の役割と功績
- ◇当該支援制度や施策を活用して成果を挙げた企業等における評価（ヒヤリング）

(3) 復興賞

- ◇東日本大震災後の東北地域（岩手県、宮城県、福島県）の経済復興への貢献度を評価

(4) グローバル部門

*海外事業を開始後3年以上経過した未上場企業

- ◇過去3期で海外事業規模が拡大
- ◇革新性、独自性、優位性があり、新たな付加価値を創出
- ◇技術、技能、ノウハウにおける他社との差別化、特徴化
- ◇海外人材の育成や活用
- ◇財務の健全性等

(5) 国際アントレプレナー賞

- ◇グローバル部門の審査基準を踏まえ、他の企業の模範となる日本人起業家であることを評価

◆審査方法： 第1次審査 応募書類による審査（全ての部門）

第2次審査 応募書類による最終審査（グローバル部門のみ）と、
面接・プレゼン審査（アントレプレナー部門、支援部門）

◆結果発表及び表彰式

平成27年10月21日（水） *東京都内にて開催予定

審査・表彰式参加に係る諸費用は、誠に恐縮ですが、応募者のご負担となります。予めご承知下さいますようお願い致します。

【応募方法】

- ◆応募申込書の提出（下記応募用紙をダウンロードし、ご入力後、データ送信願います）
（アントレプレナー部門と支援部門では、応募申込書が異なりますのでご注意ください）

※応募申込書は、下記の URL よりダウンロードしてください。

【注意】応募の部門により、ダウンロードデータとその送信先が違いますので、ご確認願います。

<アントレプレナー部門> <http://www.nbc-world.net/documents/2015shinjigyou.entre.xlsx>

<支援部門> <http://www.nbc-world.net/documents/2015shinjigyou.shien.doc>

※上記2部門の、ダウンロードデータは、< mail@jnb.or.jp > まで送信して下さい。

<グローバル部門> http://www.nbc-world.net/committee/global_jinzai/documents/2015global-taisho-entry1.xls

※この部門の、ダウンロードデータは、< mail@nbc-world.or.jp > まで送信して下さい。

- ① 念の為、この応募申込書を下記の添付資料に同封の上、郵送願います。
- ② 推薦がある場合は、推薦者欄に必要事項をご記入下さい。推薦者が無い場合は、推薦者欄は空欄のままです。

◆添付資料の提出

- ① 決算書（貸借対照表・損益計算書）又は事業収支報告書ほか < 3期分 >
*注）設立後3期に満たない場合は、2期若しくは1期でも可。
- ② 当該事業・活動等に関する新聞・雑誌等での紹介記事
- ③ 会社、団体等の活動に関する案内パンフレット類
尚、支援部門につきましては、上記に準じた資料の添付をお願い致します。

◆応募書類（申込書・添付資料）提出締切日

<アントレプレナー部門>・<支援部門> 平成27年6月 1日（月）必着
<グローバル部門> 平成27年5月15日（金）必着

◆応募書類（申込書・添付資料）の取扱い

- ① 応募書類は返却致しませんので、ご了承願います。
- ② 応募申込書の記載内容は、外部に一切公表致しません。但し、各賞の受賞者は、社名・事業内容などを報道機関に発表致しますので、予めご了承願います。

＜主催者の概要等＞

- ◆主 催 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会（略称；JNB／会長；池田 弘）
JNB は、全国の各地域協議会の連合体で、中小・ベンチャー企業育成支援のための相互啓発、情報交換、イベント、政策提言・要望等を行っております。 < <http://www.nbc-japan.net/> >

（共 催） 一般社団法人東京ニュービジネス協議会（略称；東京NBC／会長；下村 朱美）
< <http://www.nbc-world.net/> >

以上

【応募書類送付先、及び問い合わせ先】

<アントレプレナー部門>・<支援部門>

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会（担当；應本）
〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 常和赤坂一丁目ビル7階
TEL：03-3584-6077 FAX：03-3584-6081 E-mail：mail@jnb.or.jp

<グローバル部門>

一般社団法人東京ニュービジネス協議会（担当；中澤）
〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 常和赤坂一丁目ビル7階
TEL：03-3584-6080 FAX：03-3584-6081 E-mail：mail@nbc-world.or.jp